アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工業者様用

お施主様用

施工説明書
取扱説明書

ダイケン　ひじかけ手摺

この度は、ダイケン「ひじかけ手摺」をお買上げ頂きまして、ありがとうございます。この説明書には、施工上重要な項目が記載されています。
「ひじかけ手摺」を長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

注　意

当製品は、台所など火気を使用する部屋や、規模の大きい店舗等内装制限受けるところでは使用できません。

危険の定義とシンボルマーク

注　意　取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険がある場合および物的損害のみの発生が想定される場合

施工上のご注意

●当製品は、住宅等の屋内用です。他の用途へのご使用はおやめください。（屋外や浴室内など、水がかかったり湿気の多い場所に設置されますと、部品が腐食し手摺がおれやすくなり、重大事故につながる恐れがあります。）
●階段部分の手摺としてはご使用できません。
●下地は、厚さ12㎜以上の取り付け用合板が必要です。
石膏ボード、ダイライト下地には施工できません。
軽量鉄骨等の下地には直接施工できません。
（下地が不充分ですと、取付が不安定になり、けがや重大事故につながる恐れがあります。）
●取り付けは必ず同梱のビスを使用してください。またビスを空転させないでください。
●手摺の取り付け後には、ぐらつきやガタツキがなく確実に固定されていることを確認してください。

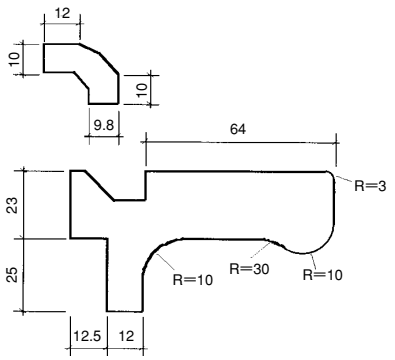
◆製品仕様

ホルムアルデヒド規制：告示対象外部位
基　材：無垢集成材
表　面：着色抗菌塗装仕上げ
（無塗装を除く）
サイズ：48×89×3,650㎜
梱包・入数：ダンボールケース１本入り
施工用ビス同梱

◆施工に必要なもの

ノコギリ
ドリル（φ1.5㎜）
電動ドライバー（プラスピット）
木工ボンド（酢酸ビニル系接着剤）
スケール等

形状



下地施工

(1) 手摺のみ場合

（木組下地）

下地には必ず厚さ12㎜以上の合板を使用してください。石膏ボード下地には施工できません。

手摺施工部分に合板（厚さ12㎜×105幅以上）を施工してください。石膏ボードの厚みを合板（12㎜以上）に合わせてください。（右図）

合板は胴縁、柱、間柱にしっかりと固定してください。

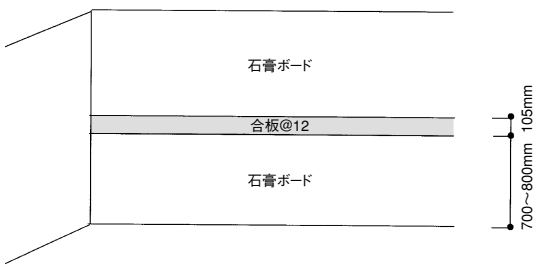
（軽量鉄骨下地）

下地には必ず厚さ12㎜以上の合板を使用してください。

スタッドに直接ビス止めしないでください。

手摺施工部分に合板（厚さ12㎜×105幅以上）を施工してください。

（右図）手摺の高さは、750㎜～800㎜が一般的です。



(2) 腰壁（システリアパネル）の額縁として使用する場合

システリアパネルの施工説明書に従って下地（合板）を施工してください。

取付位置出し

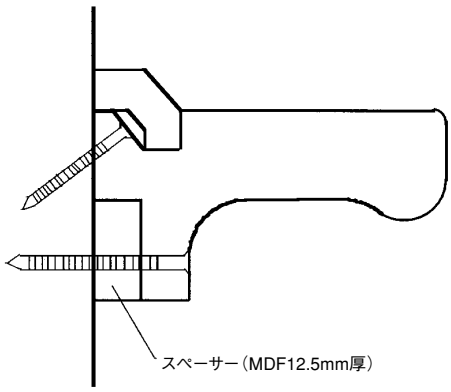
手摺を取付ける高さを決め、床面と平行になるよう墨出しをおこなってください。
手摺の高さは、750㎜～800㎜が一般的です。
システリアパネルの額縁として施工した場合、手摺の高さは、クラシック型、10／20型、スギ、ニュークラシック型Rで953㎜（手摺上部963㎜）です。
フラット型W、リブ型、リブワイド型R、リブタッチでは963㎜（手摺上部973㎜）となります。
スギ、フラット型W、リブ型、リブワイド型R、リブタッチは腰壁パネル上部をカットし、高さを調整することも可能です。

切　断

そのまま切断しますと塗装部が一部取れてしまうことがあります。
切断する部分を市販のマスキングテープで巻いてから切断するときれいに切断することができます。

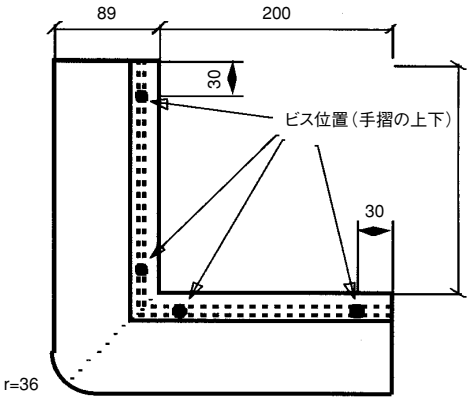
取り付け

同梱のビス（SUS　4.1×38）を手摺の上下に留め付けます。
あらかじめリード穴（φ1.5）をあけてください。
ビスの取付間隔は303㎜以下にしてください。
手摺のみ取り付けの場合は、下部にスペーサー（同梱:MDF）を使用してください。システリアパネルの額縁として使用する場合は、スペーサー部分に腰壁パネルを差込ます。メイクアップ等の薄い厚みの場合は、ガタツキの無いようスペーサー材（現場調達）にて調整してください。スペーサー材は合板またはMDF（中質繊維板）を使用してください。



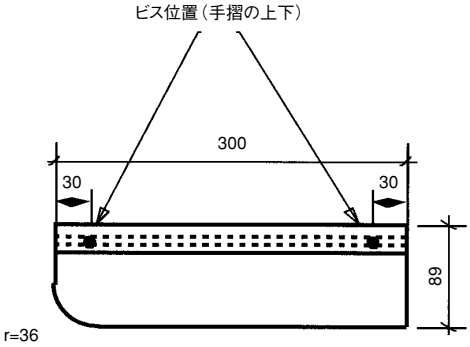
出隅部材の取り付け

出隅コーナー部には出隅（別売）をご使用ください。
留め付けは同梱のビスにてストレート部分と同様に上下を留め付けてください。取付位置は右図のように出隅部分で4ヶ所以上必要です。
ストレート部分との継ぎ手部分は手摺上面の面を合わせてください。ストレート側も端から30㎜のところへビス留めをおこなってください。
ビス留め箇所は、リード穴（φ1.5）をあけてください。
継ぎ手部分の断面には木工用ボンド（酢酸ビニル樹脂系接着剤）を塗布してください。



端部の取り付け

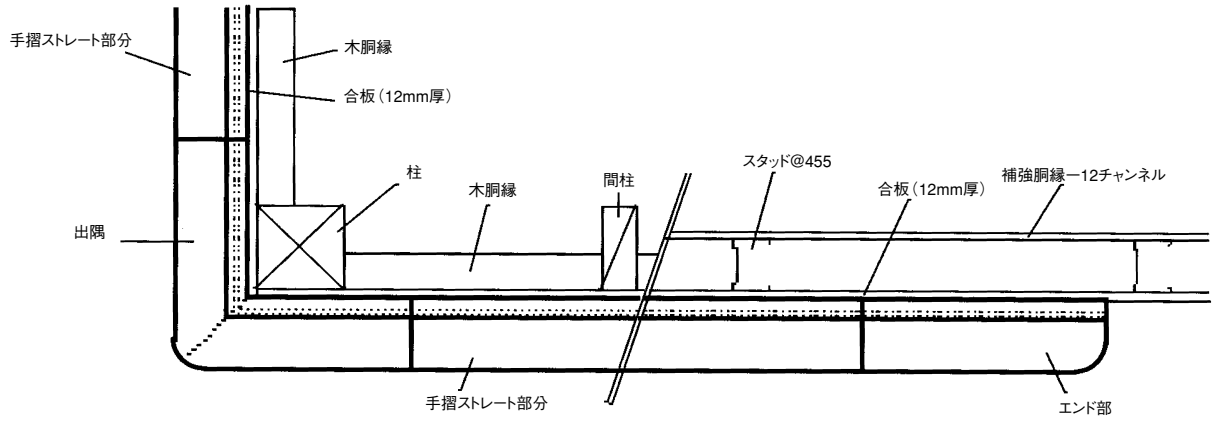
手摺のエンド部にはエンド（別売）を使用してください。
留め付けは同梱のビスにてストレート部分と同様に上下を留め付けてください。取付位置は右図のようにエンド部分で2ヶ所以上必要です。
ストレート部分との継ぎ手部分は手摺上面の面を合わせてください。ストレート側も端から30㎜のところへビス留めをおこなってください。
継ぎ手部分の断面には木工用ボンド（酢酸ビニル樹脂系接着剤）を塗布してください。
※エンドは、左右がありますので発注時に間違えないようご注意ください。



入隅の加工

入隅部分は、ストレート品を現場合わせにて留め加工してください。
留め付けは、同梱のビスにてストレート部分と同様に上下を留め付けてください。
取付位置はなるべく入隅部分にして、たわみなどが発生しないように施工してください。
留め加工部分の断面には、木工用ボンド（酢酸ビニル樹脂系接着剤）を塗布してください。

手摺施工図



取 扱 説 明 書

この度は、ダイケン「ひじかけ手摺」をご採用いただき、ありがとうございました。
この取扱い説明書は、本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために必要な知識をまとめたものです。
ご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。
この取扱説明書は、いつでも利用できるよう大切に保管してください。

警　告

手摺にぶらさがったり、無理な荷重をかけないでください。

使用中にがたつきがでた場合は、ただちに使用をやめ、
取付工事店に連絡して点検を受けてください。

手摺に固いものをぶつけたり、温風器やドライヤー熱
などを直接あてないでください。

お手入れの方法

清掃は、乾拭きまたは中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー、ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので避けてください。

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス **http://www.daiken.jp/**

製品のお問い合わせ・ご相談は　お客様相談室へ

0120-787-505

受付時間：平日9:00～18:00
（土・日・祝・年末年始・お盆は休み）

※携帯・PHSからは☎06-6452-6000へ

お取引きに係わる製品のお問い合わせ、納期・在庫確認、カタログ・サンプルのご依頼等は、下記の営業所へ。

北海道営業部

札幌営業所	☎(011)856-2202	FAX(011)856-2209
札幌特販営業所	☎(011)856-2203	FAX(011)856-2209
札幌コーディネートプラザ	☎(011)856-1044	FAX(011)854-5831
帯広営業所	☎(0155)25-8421	FAX(0155)25-8421
旭川営業所	☎(0166)24-1377	FAX(0166)21-5250
函館事務所	☎(0138)47-7191	FAX(0138)47-7192

東北営業部

盛岡営業所	☎(019)638-1161	FAX(019)638-1166
仙台営業所	☎(022)243-6621	FAX(022)243-3822
東北特販営業所	☎(022)243-6621	FAX(022)243-3822
仙台コーディネートプラザ	☎(022)243-1631	FAX(022)243-0210
青森営業所	☎(017)775-3550	FAX(017)775-2710
秋田営業所	☎(018)862-4441	FAX(018)862-4526
郡山営業所	☎(024)946-7211	FAX(024)946-7211
山形営業所	☎(023)632-2711	FAX(023)632-2711

関東第1営業部

宇都宮営業所	☎(028)621-6431	FAX(028)621-6431
宇都宮特販営業所	☎(028)621-6431	FAX(028)621-6431
水戸営業所	☎(029)248-8511	FAX(029)248-8511
群馬営業所	☎(027)364-9811	FAX(027)364-9811
つくば営業所	☎(0298)49-2344	FAX(0298)49-2344

関東第2営業部

長野営業所	☎(026)222-6311	FAX(026)222-6311
新潟営業所	☎(025)285-5887	FAX(025)285-5887
長岡営業所	☎(0258)33-5734	FAX(0258)33-5734
松本営業所	☎(0263)26-0384	FAX(0263)26-0384

東京営業部

東京営業所	☎(03)5386-5957	FAX(03)5386-5957
多摩営業所	☎(042)571-3434	FAX(042)571-3434
埼玉営業所	☎(048)669-0660	FAX(048)669-0660
千葉営業所	☎(043)287-8491	FAX(043)287-8491
山梨営業所	☎(055)275-7931	FAX(055)275-7931
熊谷営業所	☎(048)527-5601	FAX(048)527-5601
我孫子営業所	☎(0471)83-4070	FAX(0471)83-4070

横浜営業部

横浜営業所	☎(045)983-2332	FAX(045)983-2332
厚木営業所	☎(046)222-1535	FAX(046)222-1535
静岡営業所	☎(054)288-3881	FAX(054)288-3881

中京営業部

名古屋営業所	☎(052)861-2351	FAX(052)861-2351
三重営業所	☎(059)226-7073	FAX(059)226-7073
浜松営業所	☎(053)473-1271	FAX(053)473-1271
岐阜営業所	☎(058)246-6752	FAX(058)246-6752

北陸営業部

金沢営業所	☎(076)262-3211	FAX(076)262-3211
北陸特販営業所	☎(076)262-3211	FAX(076)262-3211
富山営業所	☎(076)425-5575	FAX(076)425-5575
福井営業所	☎(0776)26-8508	FAX(0776)26-8508

近畿営業部

大阪営業所	☎(06)6915-7041	FAX(06)6915-7041
京都営業所	☎(075)341-8151	FAX(075)341-8151
和歌山営業所	☎(073)473-8090	FAX(073)473-8090
神戸営業所	☎(078)321-1822	FAX(078)321-1822
姫路営業所	☎(0792)24-8860	FAX(0792)24-8860
沖縄営業所	☎(098)879-4916	FAX(098)879-4916

中国営業部

広島営業所	☎(082)505-2525	FAX(082)505-2525
中国特販営業所	☎(082)505-2525	FAX(082)505-2525
福山営業所	☎(084)924-7196	FAX(084)924-7196
岡山営業所	☎(086)262-2271	FAX(086)262-2271
山口営業所	☎(083)922-0303	FAX(083)922-0303

四国営業部

高松営業所	☎(087)823-9111	FAX(087)823-9111
徳島営業所	☎(088)622-6261	FAX(088)622-6261
松山営業所	☎(089)945-8569	FAX(089)945-8569
高知営業所	☎(088)875-7941	FAX(088)875-7941

九州営業部

福岡営業所	☎(092)413-2345	FAX(092)413-2345
北九州営業所	☎(093)522-1224	FAX(093)522-1224
長崎営業所	☎(0957)25-1160	FAX(0957)25-1160
大分営業部	☎(097)533-8701	FAX(097)533-8701
熊本営業所	☎(096)384-1222	FAX(096)384-1222
宮崎営業所	☎(0985)26-5908	FAX(0985)26-5908
鹿児島営業所	☎(099)254-8300	FAX(099)254-8300

東部特販部	☎(03)3249-4850	FAX(03)3249-4856
マンション部（東京）	☎(03)3249-4826	FAX(03)3249-4906
ビル建材部（東京）	☎(03)3249-4821	FAX(03)3249-4941
建装部（東京）	☎(03)3249-4065	FAX(03)3249-4069
西部特販部	☎(06)6452-6231	FAX(06)6452-6063
マンション部（大阪）	☎(06)6452-6243	FAX(06)6452-6099
ビル建材部（大阪）	☎(06)6452-6245	FAX(06)6452-6081
建装部（大阪）	☎(06)6452-6246	FAX(06)6452-6085

東部リモデル営業部	☎(03)3249-4925	FAX(03)3249-4824
西部リモデル営業所	☎(06)6452-6173	FAX(06)6452-6399

※仕様は2004年7月現在

安全に関するご注意

製品を安全にお使いいただくために、設計・施工・使用にあたっては、下記の点をお守りください。

(1) 製品の検討・設計にあたっては…

*このカタログに掲載の製品には、使用用法・場所などを限定するものがあります。製品の検討時には、必ず用途をご確認の上、誤採用がないように注意してください。
*設計時には、「設計・施工資料」をよく読み、注意事項をお守りください。

(2) 施工にあたっては…

*「施工説明書」もよく読み、正しく施工してください。
*専門施工を必要とする製品は、必ず専門の工事店様にご依頼ください。

(3) 使用にあたっては…

*取扱いに注意が必要なものには、「取扱説明書」（または「使用説明書」）がついています。ご使用の前によく読み、使用上の注意をお守りください。

【工務店様へお願い】　「取扱説明書」（または「使用説明書」）がついている場合には、製品の施工完了後、引き渡し時に、必ずお施主様にお手渡しください。

発行：2004年7月　SE2004.7 KA (P1.0-03) SE